

令和元年6月3日
観測部
地球環境・海洋部

春（3～5月）の天候

2019年（令和元年）春（3～5月）の日本の天候は、北・東・西日本で日照時間がかなり多く、北・西日本と沖縄・奄美で気温がかなり高くなりました。降水量は、北・西日本で少なく、沖縄・奄美で多くなりました。

2019年（令和元年）春（3～5月）の天候の特徴は以下のとおりです。

○春の日照時間は、北・東・西日本でかなり多く、春の降水量は北・西日本で少なくなりました。

北・東・西日本では、期間を通して高気圧に覆われる日が多く、春の日照時間はかなり多くなりました。北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側では、1946年の統計開始以来、春の日照時間として最も多くなりました（西日本日本海側は1位タイ）。また、春の降水量は北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と西日本で少なくなりました。

○春の気温は、北・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高くなりました。全国的に、高気圧に覆われて晴れて強い日射の影響を受けたことや、暖かい空気が流れ込みやすかったため、春の平均気温は北・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高くなりました。

○沖縄・奄美では、春の降水量が多くなりました。

沖縄・奄美は、期間を通して前線や湿った空気の影響を受けやすく、春の降水量は多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:478KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko190305_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406